



石東中だより

平成27年3月20日

発行者：練馬区立石神井東中学校

校長 堀井安伸

誠実さを大切に！！（第66回 卒業式式辞より）

校長 堀井安伸

春の穏やかな日ざしの中、多くのご来賓のご臨席を賜り厳粛に第66回の卒業式を挙げていただきました。卒業生全員が、各々の個性を大いに伸ばし健全にたくましく成長してくれたことと思っています。これも、地域、保護者の皆様の暖かいご支援ご理解の賜と改めて感謝申し上げます。

卒業生一人一人がそれぞれの進路先で自身の夢を実現し、地域・社会に貢献できる人に大きく成長してくれることを祈っています。

そこで、卒業式の校長式辞を紹介させていただきます。

平成26年度 第66回 卒業式 式辞（抜粋）

卒業生の皆さんは実に多くの場面で輝きそして活躍してくれました。

特に、春の運動会では、百足競争や組み体操、ソーラン節等、迫力ある演技・競技を披露し、最高の仲間と最強の心で、最大の力を発揮してくれました。まさしく感動が100%の運動会でした。秋の合唱コンクールでは、どの学級もさすが3年生と誰もが聞き入ってしまう歌声を響かせてくれました。本校のスローガンである「心をひとつに」の思いで歌うことは、友達との心のつながり、学級のまとまりが生まれることを教えてくれました。胸が熱くなったのを思い出します。

修学旅行でも、十分な知識を身につけ、本格的な修学旅行を満喫すると共に、石東中生としての誇りと自覚を持って行動してくれました。そして日頃の学校生活をふくめ、どの姿を見てもまさに、本校の教育目標である、「思いやりの心を持つ人」「自ら学び、考え行動できる人」「心も体もたくましい人」に成長できたのではないかと実感しています。学年の目標でもある「気持ちが変わる学年になろう」においても達成できたのではないのでしょうか。

皆さんの愛校心と生き生きとした活動は、後輩たちにもしっかりと受け継がれたものと思います。ですから、私は皆さんに「おめでとう」という気持ちとともに「ありがとう」という気持ちでいっぱいです。

今日の日、皆さんにとって本校を卒業する日であると同時に、未来社会の担い手として、それぞれの新しい進路に向かって旅立つ日でもあります。社会や環境がめまぐるしく変化していく中でも、人としてのあるべき姿は、いつの時代も変わりません。そこで、皆さんの晴れの門出に、はなむけの言葉を贈りたいと思います。



皆さんに心がけてほしいことを話します。

それは、誠実さを大切に、人から信頼される人間であってほしい、ということです。私たちは社会で多くの人々と協力し助け合って生活しています。相手のこと、まわりの人のことを考えて、思いやりのある心をもって行動することは社会生活をするものが心がけていかなければならない基本的なことです。

しかしながら、自分の思うようにならない事がおきると、つい、自分本位の考えをして、自分は悪くないと他の人のせいにして、社会のせいにしてしがちです。そして、自分だけがよければ、他の人は、どうでもよい、という態度をとったり、自分勝手な行動をしているのに、他の人を批判したり、非難したりしてしまいます。

その結果、多くの人から反発を受け、一緒に仕事をし、仲良く生活することが難しくなるでしょう。現在の社会は、価値観が多様化し、人々の考え方や行動も変わりつつありますが、社会に生きる一人として、自分のことだけを考え、多くの人に迷惑をかけるのではなく、相手のこと、まわりの人々のことを考え、誠実に生きることは大切なことだと思います。

また、そのように心がけていけば、必ず多くの人から信頼を得て、明るく、楽しい生活を築くことができ、自分を生かすことにつながるものと信じています。

どうか、若い力と情熱を生かして、これからも、自分の可能性を信じ、苦しいことにも耐え、明日からの新しい道を、夢を持って、明るく、一步一步着実に歩いていってください。

今日の門出は、まさにその一歩です。確かな一歩を歩み出してください。「卒業おめでとう」

今年度もいろいろお世話になりました。ご意見をお寄せください。03-3996-2158

ホームページ：<http://www.shakujii-e-j.nerima-kyo.ed.jp/>

学校保健委員会の報告【2月26日(木)】

生徒の心身の健康状態を良好に保ち、学校における健康づくりについて、関係者と協議を行い、学校での健康保持の増進を図ることを目的として、学校保健委員会を開催しました。学校からの報告の後、学校医(内科)の原田昇先生からインフルエンザや感染性胃腸炎等について、学校歯科医の志賀正彦先生からは日常のブラッシングのコツについて、学校薬剤師の渡邊裕子先生からは学校薬剤師の活動等のお話をいただきました。ご参加された保護者の皆様ありがとうございました。

主な行事の紹介

●スキー移動教室(2年)〈3月2日(月)～5日(木)〉

2年生が長野県にある練馬区立軽井沢少年自然の家で(湯の丸スキー場)「スキー移動教室」を行いました。「2年圧雪～学年全体を美しく～」をスローガンに最高の雪質と天気の中でスキーの講習を受けることができました。3日目には、ほとんどの生徒が一番高いところから滑り降りるほど上達しました。



●もちつき大会(1年)〈3月3日(火)〉

青少年谷原地区委員会、地域の協力者、PTAの方々のご協力により恒例の1年生餅つき大会を実施しました。1年生の学級委員、給食委員の生徒も前日から米とぎ等の準備を手伝いました。生徒は、重い杵に苦勞しながら、全員で協力し、餅をつきました。できあがったお餅は、その場でおいしくいただきました。ご協力ありがとうございました。



●薬物乱用防止教室(3年)〈3月5日(木)〉

3年生が、薬物乱用による心身への影響、依存症、身近に迫る危険について理解するために光が丘警察にご協力いただき薬物乱用防止教室を行いました。DVDを用いた講義の後、実際におきた事例を基に身近にある薬物の危険な罠の恐ろしさについて学びました。生徒からは、「1回位という甘い考えは通用しない」「誘いに対し断ることができる人になる」等の感想が寄せられました。卒業を控えた3年生が、この教室を通して適切な行動選択と、意思決定ができる資質と能力を身につけてほしいと思っています。



●校外学習(3年)〈3月13日(金)〉

3年生が八景島シーパラダイスで校外学習を行いました。3年間の校外学習の集大成として、海育をテーマに学習しました。学年・学級の団結や友人との信頼関係を深め、楽しく思い出に残る行事になりました。



●三年生を送る会〈3月16日(月)〉

卒業を控えた3年生に感謝の気持ちを伝えるために、生徒会主催による三年生を送る会を行いました。1、2年生からは、全員が参加した3年生への感謝のメッセージを送りました。3年生からは部活動の部長等から後輩への感謝の言葉を送りました。1・2年生から3年生へ、3年生から1・2年生へ思いが伝わる行事となりました。



大会等の報告

●吹奏楽部

〔スプリングコンサート〕

日時：3月21日(土)

12時30分 開場

13時00分 開演

●演劇部

〔出張公演会〕

日時：3月14日(土)

場所：富士見台地区区民館

演目：「上を向いて歩こう」

●日本医師会・読売新聞社主催

第33回 心に残る医療体験記コンクール

中高生の部 最優秀賞 2年女子

★4月のおもな行事★

6日(月) 始業式 7日(火) 入学式 9日(木) 身体計測・新入生歓迎会 10日(金) 身体計測

17日(金) 授業参観・保護者会 21日(火) 文部科学省 学力・学習状況調査(3年) 23日(木) 部活動保護者会